



We Serve

ライオンズレポート 03

豊川中LC会長スローガン「温かな心・謙虚な心 今！この時 仲間と共にウィサーブ」
地区ガバナーズスローガン 「人の環 心の和 奉仕の話 We Serve」

第1198回 3月第二例会 第二委員会担当例会

日時： 3月19日（金）12：00～ / 場所：豊川商工会議所

【例会次第】

12：00	開 会	計画委員長	L 白井美穂
	開会のゴング	会 長	L 田中享子
	国旗儀礼（ご起立ください）		
	国歌及びライオンズクラブの歌		
	会長挨拶	会 長	L 田中享子
	LCIF DVD上映・スピーチ		
		LCIF・国際協調・YCE・レオ委員長	L 星川和雄
	委員会報告	第一委員会 第一副会長	L 小林琢生
		第二委員会 第二副会長	L 山本芳世
	趣味の会 クラブ報告		L 橋本義宣
	幹事報告	幹 事	L 藤井智香子
	会員の一言		
	出席率報告	計画委員長	L 白井美穂
	テールツイスター報告	テールツイスター	L 丸山公田
	次回例会案内	計画委員長	L 白井美穂
		4/2（金）花見例会	於：いかまい館前駐車場
	閉会のゴング	会 長	L 田中享子

【会長挨拶】

皆様、こんにちは。

ソメイヨシノの桜の開花宣言もあり、桜ヶ丘ミュージアムの薄墨桜はちょうど見頃ですので、よかったですら花見に行って春を感じて頂けたらと思います。

昨日、4月の花見例会のご案内をさせて頂きましたが、皆様、見ていただけましたでしょうか。

今迄、植樹した3ヶ所の桜ですが、A3の用紙に地図を印刷させていただきましたのでご確認ください。詳しいことは、後ほど環境保全委員長より説明させていただきます。

さて、本日はLCIFの研修会で、DVDを観ていただき、L星川からスピーチがあります。

会員の皆様で学ぶ機会にしたいと思います。それでは、引き続き例会の進行、宜しくお願いいたします。

【幹事報告】

- * 4月24日に開催されます、第67回 年次大会（4月24日）は代議員5名で出席して参ります。
- * 4月理事会ですが、第4回合同ゾーン会議並びにガバナー諮問委員会と同日同時刻になりますので、日にちを変更して19日（月）に開催を致します。お間違いのないようよろしくお願い申し上げます。



会長挨拶 L田中 享子



LCIF・国際協調・YCE・レオ委員長 L星川和雄

■ 会員数

正会員 31名 家族会員 10名 賛助会員 2名
不在会員 2名 終身会員 2名 計 47名

■ 出席率

出席 24名 欠席 8名 出席率 75%
(MP後:出席 25名 欠席 7名 出席率 78%)

■ テールツイスター報告 ドネーション: 10,000円 ファイン: 1,500円

【 LCIFとは 】 (ライオンズクラブ国際協会 ホームページより)

LCIFとはライオンズクラブ国際財団のことで、ライオンズクラブ国際協会の公式慈善財団であり、援助、希望、癒しを世界に提供します。LCIFは、地域社会のニーズに取り組む大規模な人道事業に関して、世界中のライオンズ地区に助成金を交付しています。ライオンズクラブ国際財団の使命は、世界中のライオンズクラブが重要な人道奉仕プロジェクト遂行上、地域社会や世界のコミュニティで行う奉仕活動をサポートすることです。LCIFの支援により、ライオンズクラブの会員たちは、失明や聴力の喪失などでグローバルな問題に取り組み、地震や洪水などの大災害に対処しています。LCIFは、ライオンズクラブの会員たちと共同で、学校や病院、障がい者向け職業訓練センターの建設を援助することにより、会員による地域社会への奉仕も支援しています。LCIFは、より健康的でより生産的な生活を送れるように人々を支援し、青少年の可能性をのばし、人々の健康を促進し、高齢者に奉仕し、障がい者をカづけ、再開の犠牲者を援助します。

- 1968年 LCIF 財団として法人化
- 1972年 LCIF、初の交付金として米国サウスダコタ州の洪水被害に5000ドルを提供
- 1973年 1000ドルの寄付者を表彰する方法としてメルビン・ジョーンズ・フェロウシッププログラムを開始
- 1984年 青少年育成プログラム、ライオンズクエストの実施に向けて、クエスト・インターナショナルとのパートナーシップを開始。
- 1985年 LCIF、初の大災害援助交付金としてメキシコの地震被害に5万ドルを提供。
- 1990年 視力ファースト・プログラムが開始され、継続的な活動によって3000万人を超えるひとびとの失明を予防。その後始まった視力ファースト・キャンペーンでは、視力ファースト事業の為に1億4500万ドル余りを獲得。
- 2001年 9.11同時多発テロ救援基金を設け、被害者救済の為に300万ドルをかくとく。スペシャルオリンピックとパートナーシップを開始し、オープニングアイズ・プログラムを通じて選手に視力検査を提供。LCIFと世界保健機構、小児失明と戦う世界初の取り組みに着手。
- 2002年 LCIF、ライオンズクエスト・プログラムの権利を獲得。ジョンソン・エンド・ジョンソン・ピジョンとともにサイト・フォー・キッズ・プログラムを開始し、アジアの子どもたちに視力検査とアイヘルス教育を提供。
- 2004年 ライオンズ、南アジアの津波被害の救援資金として1500万ドル余りを調達。単独の災害復興事業としては史上最大の規模。
・
・
- 2009年 ライオンズクエスト25周年。ライオンズ、ハイチの地震被害の救援資金として600万ドル余りを調達。
・
・
- 2018年 50周年。ライオンズとパートナーの皆様から頂いた寄付のみを資金とするLCIFは、視力保護、青少年支援、災害援助及び人道支援の分野で約1万4千件の交付金事業に10億ドル以上の資金を提供。
・
・
- 2020年 世界が一丸となって新型コロナウイルス感染症のパンデミックに取り組んでいる中で、LCIFは、人類が直面しているとてつもなく大きな課題に対応し続けています。